

うだちから

「うだちから」とは、宇陀に由来からある地域コミュニティの力(宇陀力)のことです。このコーナーでは、市が取り組む「まちづくり」やNPO団体などを紹介します。

問 政策推進課 ☎82・3910/IP ☎88・9094

3年目となった令和4年度は、地域住民の健康増進を目的とした散歩道、コミュニケーションの場、菟田野中学校の通学路でもある水分桜街道にベンチを設置するご要望があり、設置場所の調査、建築組合菟田野支部の方とベンチ製作の調整、菟田野中学校へのペイントの依頼などを行い、3月に4台のベンチが完成しました。

桜が開花し始めた3月19日、古市場自治会の美化活動の日に、自治会にベンチを寄贈し、皆さんと設置作業を行いました。お花見に何とか間に合い、満開の桜の下で、

① 地域支援活動

水分桜街道にベンチ寄贈

菟田野まち協

当まち協では、地域支援活動として地域住民の方から、環境保全・住環境整備・地域区民の交流や連携にまつわるご要望を聞き、支援する事業を令和2年度から実施しています。初年度は、コロナ感染防止対策グッズを17の自治会に配布、2年目は佐倉地区の公園整備を実施しました。



▲菟田野中学生がペイントしたベンチ

かわいイラストの入ったベンチも嬉しそうです。また、たくさんの方にも新しい木のぬくもりあるベンチに座ってお花見を楽しんで頂きました。皆さんも散歩のときに座ってみてくださいね。

今年度も地域の皆さんのお声を聞き、活動を進めたいと考えています。



▲桜街道に設置

② 竹細工の加工・販売

宇陀市仕事づくり推進隊(ネクストコモンズラボ奥大和)

地域おこし協力隊の富羽一成です。令和2年5月に市へ着任し、まず香川県の丸亀うちわの制作技術を皮切りに、人のつながりを活かして、竹炭技術、竹の加工技術を会得してきました。その中で、竹の持つ性質が広く生活に利用で



▲地域おこし協力隊として活躍された富羽さん

3年間、多くの方々からご指導をいただき、また地域にも溶け込むことができました。ありがとうございました。

きることを実感し、起業への取り組みとして、カトラリー(フォークやナイフなど)の受注生産をはじめ、今はコップなど新しい製品づくりにチャレンジしています。

4月末日をもって任期が終了しましたが、今後はネット販売を取り入れ、販路を広げていきたいと考えています。



▲竹で作ったお箸

③ 令和5年度宇陀市まちづくり活動 応援補助金の交付事業が決定

団体名	事業名と活動内容
紀伊半島交流 会議伊勢街道 分科会	【地域と創る宇陀の魅力事業】 地域の方々とともに新しい可能性を探ることを目的として、宇陀がもつ豊かな自然や歴史、文化の情報を広く伝える事業に取り組む。まち協等と協働して、ウォーキングマップやパンフレットの製作を軸に宇陀の情報を発信し、地域で開催される季節の催しを案内する。
一般社団法人 クオリティオブ ライフ SANKI	【三本松地区まるまマルベリー計画】 三本松地区の活性化のため、休耕作地を利用してマルベリー農園をつくり、将来は雇用の推進、体験型農園を実施することで、子どもたちの農育、食育の提供や各種団体との協力体制を目指す。
NPO 幸せのバトン	【関係人口と地元住民が共創する地域活性化を目指して】 地域の活性化と関係人口(第二のふるさと人口)を増やすために、地域のネットワーク作りを取り組み、各種体験型イベントの企画、立案、運営、情報発信等を行う。
宇陀市の神話と 歴史を考える会	【宇陀三将秋山氏と秋山城「宇陀松山」重伝建街並みを巡る】 秋山氏の群像にスポットを当て検証を行うため、講演会と冊子の制作、および秋山氏追放後の豊臣配下の大名が改修・整備した宇陀松山城跡と城下町「宇陀松山」の街並みを巡る。
龍口地区活性化 プロジェクトチーム	【城山城跡及び龍口城跡を中核にした地域活性化事業(ふるさと歴史「生き」「活き」プラン)】 室生龍口には県および市指定無形文化財がある。自分たちが生活する地域の無形・有形の文化財を知り、歴史ある宇陀市で生まれ育ったことを誇りにしてもらうため地域周辺整備や遊歩道へのベンチ等の設置を行う。
UDA ミニバスケット ボールスクール	【宇陀松山親子寺子屋】 作文指導や家庭学習習慣定着運動、オンライン寺子屋、教育心理などを寺子屋として開催してきた。今回は、簿記に焦点を当て、高学年に簿記3級に触れる機会を設ける。
イルミネーション 実行委員会	【榛原駅イルミネーション事業】 榛原駅前のイルミネーションを発展させる。「ちょっと寄り道したい町、やっぱり寄り道したい町」を基本コンセプトとしたまちづくり事業の一環として、多くの人々が行きかう北口、南口をイルミネーションで装飾し、地域の活性化につなげる。
宇陀の薬草を 全国に広める会	【宇陀松山「薬草・発酵博覧会」の開催】 宇陀松山地区周辺でマルシェを開催している関係者とともに推古天皇の時代から続く「薬草」と酒造、醤油、漬物の加工技術である「発酵」をテーマにしたイベントを開催し、宇陀の魅力を全国に発信する。
織田家作った 能舞台保存会	【阿紀神社秋の大祭 阿紀能】 宇陀松山藩を治めた最期の武将、織田家作った能舞台を再認識していただくため、まち協、神社氏子の協力を仰ぎながら阿紀神社での能楽公演を開催する。



ツルニンジン

ツルニンジンは山野に自生する多年生の性草本で、茎を切ると白い汁が出ます。そのため、生薬名に羊乳が当てられています。生薬に使うのは根茎部で、八〜九月ごろ、根茎を採集し、日光に当てて乾燥します。根茎が朝鮮人参に似ており、茎がつるになるのでツルニンジンの名前が付けられたのです。六五九年に書かれた新修本草に最初に記載された生薬です。

ツルニンジンは栽培しやすい植物なので、根茎を野山で採集し、庭に植か植えしたり鉢、プランターなどに植えたりしておく、よく育ちます。

つる先と若葉は塩ゆでし、水にさらし、からし酢みそあえに、また根茎は、よく洗って薄く切り、しばらく水にさらして、てんぷら、つけ焼き、みそ漬、かす漬にすると、美味しくいただけます。



※当市で「薬草活用講演会」をしていた村上光太郎先生の連載より一部抜粋

薬草道遙(やくそうしやうよう) 毎回「薬草」に関わる内容を連載でお届けするコラムです。

問 商工業課 ☎82・5874 / IP ☎88・9075